

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年10月21日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|-----------------------------|----------------|-------------|
| 事業所番号 | 0890500044 | | |
| 法人名 | 有限会社 塚田埋設工事 | | |
| 事業所名 | 小規模多機能型居宅介護事業所 やさとの森 | ユニット名 | |
| 所在地 | 〒315-0156 茨城県石岡市吉生3607-2 | | |
| 自己評価作成日 | 平成26年4月22日 | 評価結果 市町村受理日 | 平成26年10月15日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-----------------|---|
| 基本情報 リンク先URL | http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_021_kihon=true&JigyosyoCd=0890500044-00&PrefCd=08&VersionCd=021 |
|-----------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|-------------|------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内 | | |
| 訪問調査日 | 平成26年5月28日 | 評価機関 決裁日 | 平成26年10月2日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|--|
| <p>・周囲には田畑が広がり、季節を感じられる地域に建っており、周囲の環境にマッチした概観です。建物内部はゆったりとくつろげる造りです。浴室は広々としており、檜の個浴を設置しています。窓から庭園や筑波山を眺めることができ気持ちよく入浴して頂けます。</p> <p>・小規模多機能ならではの特性を活かし、急な予定変更にも対応できます。食事は、地元で獲れた季節の食材を使用する事もあり、利用されている方から、家庭的な味付けで美味しいと大好評です。</p> <p>・女性職員が多く、細やかな介護の提供や、かゆい所に手が届くお世話を目指しています。</p> <p>・「声を出して笑うこと」が健康に暮らす第一歩という考えの下、笑いが絶えない明るく元気いっぱいの施設を作り上げています。実際に食欲が増して元気になった方、胃ろうが抜去できた方もおり、声を出して笑うことが生み出す意欲やパワーを利用者の方と一緒に実感しています。</p> |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

| |
|--|
| <p>事業所の周囲には田畑が広がり、筑波山の山懐にいだかれた緑豊かな地域に立地し、四季の移り変わりを感じながら穏やかに過ごすことができる環境となっている。</p> <p>食材には代表者の田んぼで作られた米など、地元産のものが利用されている。</p> <p>代表者が飼育している鮎や岩魚が事業所の夏祭り「ぼっかぼか」に提供されるなど、地域に根ざした運営がなされている。</p> <p>管理者は職員が明るく元気、笑顔で利用者に接することができるよう、職員との日々のコミュニケーションを図るとともに、出産休暇や育児休暇の職員とも連絡を取り合い、職場復帰に備えた援助を行うなど、職員に対してきめ細やかに配慮をすることにより、良好な職場環境の維持、向上に努めている。</p> |
|--|

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 管理者、職員が話し合い、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、玄関および控え室に掲示し、共有している。また、住み慣れた地域で暮らしているケアを日々心がけ、地域の方とのつながりも重んじながら施設の運営や様々な行事の企画、実施を行っている。 | 開設時に管理者と職員で話し合っ「住み慣れた地域で安心して」や「ご利用者の持っている力を生かし自立した生活が送れるように」、「ご利用者の生き方により添い、その人らしく暮らしていけるように」などの文言を含んだ理念を作成し、玄関や事務所に掲示するとともに、毎月の職員会議時に理念を確認し、共有して実践につなげている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 「こどもを守る110番の家」として、地域の子供たちの安全確保に協力、小学校の廃品回収への空き缶提供、小中学校のペットボトルキャップ回収へのキャップ提供、小中学生福祉学習およびボランティア活動の場としての受け入れ、年1回の感謝祭において地域の方を招き交流会の開催、地区公民館を利用した花見、日常の散歩など、地域の一員として交流を積極的に行っている。 | 事業所は「こどもを守る110番の家」として地域の子供も達の安全確保に協力したり、小学生や中学生の体験学習やボランティア活動の場として提供したり、小学校の鼓笛隊を受け入れたりして交流を図っている。 年1回の「やさとの森感謝祭」では、職員が地域の家を訪問して案内状を配布し、80名以上の参加を得ている。 敷地内に併設するゲートボール場を地元老人会に開放するなど、日常的に地域住民と良好な関係を築いている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 近隣住民の方からの相談に対し、認知症のケアやサービスの利用の仕方などを丁寧に説明したり、学生の職場体験などの際には、わかりやすくケアの方法などを説明している。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、地区代表の方や民生委員の方、家族の代表者、介護保険担当課職員に、アンケートや行事、研修、ヒアリングなどについて報告している。会議の場に出た意見は施設運営や日常のケアの大切な意見として、実践に取り入れ、結果などについても報告を心がけている。 | 運営推進会議は家族等の代表や市職員、区長、民生委員、事業所職員で2ヶ月に1回開催し、議事録を作成している。 事業所からは利用者の状況報告や行事報告、研修報告を行い、市職員からは季節を感じさせる行事として、菊祭りやお花見などの継続の要望、区長からは事業所主催の地域住民を交えた防災訓練の継続の要望など、委員から出た意見等を検討して記録に残すとともに、サービスの質の向上に活かしている。 | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 地域密着型サービス事業所協議会（年5回程度）への参加の機会、運営推進会議開催（年6回）の機会、書類提出時や調査書類取得時の機会を中心に必要に応じて実情や取組みなどについて伝え、ホームページの立ち上げへの協力や利用者増取組みへの協力、各種制度の手続き支援を頂いている。市担当課の担当者は大変親切で感謝している。市からの要請には積極的に応えていきたい。 | 管理者は介護保険室を随時訪問し、事業所の利用状況を報告したり、利用者の要介護更新認定の情報を得たりしている。 事業所のホームページの立ち上げ時に行政の協力が得られるよう良好な関係づくりに努めている。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束についての内部研修会を実施し、身体拘束による弊害について全職員が認識しており、利用者の気持ちに寄り添うこと、安全な環境を作り未然に事故を防ぐことなどの対応により、身体拘束を行なった事例は今までにない。玄関の施錠も夜間のみである。今後も施設一丸となって、身体拘束を行わないケアを実践していく意向である。 | 事業所は身体拘束排除のための研修会を実施し、職員は身体拘束による弊害を認識しており、身体拘束をしないケアに努めている。 玄関は夜間を除いて施錠はしていないが、やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合に備えて「同意書」や「経過観察記録」などの書類を整備するまでには至っていない。 | やむを得ず身体拘束をしなければならない場合に備え、「身体拘束の同意書」や「観察記録」、「検討記録」などの書類を整備することを期待する。 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 高齢者虐待防止法については以前内部研修を実施。施設内においては、職員間で利用者のケアについて、いつでも話し合うことができる環境であり、専門職とはいえ一人の人間であるので、介護者として多くのストレスを受けないよう話し合い、ケアの工夫を行なっている。また家族介護者においては、介護者との信頼関係を結ぶことができるよう、受容と共感の態度で接し、サービスの調整や介護の相談に随時対応し、ストレスの軽減を図れるよう対応。また利用者の身体状況や行動などに異変がないか十分に観察を行なっている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 現在のところ制度の活用者はいないが、必要に応じて対応できるよう、特に介護支援専門員は、制度に関する情報の収集や学習の機会を持つよう心がけている。また日頃より地域包括支援センターや社会福祉協議会との連携を行なっている。 | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 初回契約時には丁寧に説明を行い、十分に理解して頂き納得した上でご利用いただけるよう心がけている。また介護保険制度改正に伴う介護報酬等の変更などについては、ご利用者様およびご家族様に文書を配布し、同意書を頂いている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 年1回アンケートを実施し、要望や意見を伺う機会を設けている。また運営推進会議に参加下さっている家族の代表者の意見や、送迎時の家族との会話の中で出される要望や意見、連絡帳を通じて出される意見等を大切に、できる限り意見に添った運営、より良い運営ができるよう努力している。 | 利用者からは日々のふれ合いを通じて、家族等からは運営推進会議や利用者の送迎時、連絡帳などで意見や要望を聴いている。 年1回家族アンケートを実施して家族等の思いを汲みあげ、職員会議で検討して運営に反映させるように努めている。 家族等の要望で、迎え時の待ち時間の寒さ対策として、「玄関ドアを閉じて待機したい」との要望があり、改善している。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 管理者は常にスタッフと共にケアに加わり、様々な場面や状況の中の絶妙なタイミングで意見を交わせる環境の職場である。また全職員が運営に関して役割を持っており、それぞれが提案や企画、運営といった責任ある立場で管理者と意見を交換し、それらが十分に反映されている。 | 管理者は月1回の職員会議や申し送りノート、日常の会話の中で職員の意見や要望を聞くように努めるとともに、職員が意見や提案を出し易い関係づくりに配慮している。 職員からの提案で、リハビリテーションを兼ねたタオル体操を導入し、利用者の体力維持に役立てている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員の大半が子育て中の主婦であり、労働時間や休暇など最大限の配慮をしている。また、得意なことが生かせるよう役割分担も配慮している。また明るく何でも話し合える環境作りに努め、職員の退職が4年間無い状況である。 | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 各種研修会への参加を促したり、施設内での研修を実施。また資格取得にむけたアドバイスや勉強会などを実施している。これは、正社員に限ったことなく、パート職員に対しても同様に行なっている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 石岡市地域密着型介護サービス事業所協議会に加入し、勉強会や同業者との交流会に参加。資質の向上に向け良いと思ったことを積極的に取り入れている。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | サービス利用開始時は特に様々な不安を抱えていることが多いことを理解し、十分な聞き取りや意思の疎通を図り、ご本人が安心して暮らしていけるよう対応している。また信頼関係を気づく上で大切な受容や共感の態度で接していくよう心がけている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 利用に至った経緯やこれまでのご本人との関係も聞き取りや相談対応の時点で十分に理解し、住み慣れた自宅で介護が続けられるよう、できる限り要望に添ったサービスを調整できるよう努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 問題点と必要とされていることを初期の段階で迅速に見極め、高齢者の制度に即したもののばかりでなく、多方面にわたる制度なども視野に入れ支援していけるよう努めている。 | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 人生の大先輩として尊敬の気持を持ち、ご本人が、「自分が必要な存在である」ということを感じられるよう、教を請う機会なども持つよう心がけている。また日本の伝統の行事、地域の伝統行事の時期には、話題として取り上げ、知識をフルに生かして頂く機会もあり、共に過ごす大切な一員となるよう努めている。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 時には、元気に暮らしてもらいたいと思う家族の気持、世話をしてくれることに感謝しているご本人の気持ちの代弁者としての役割を果たし、関係が穏やかでいられるよう努めたり、家族が主体的に介護していけるよう、また施設と家族が協力してケアしていけるようサービスの調整や計画を共に立て支援していけるよう努めている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 冠婚葬祭や不在者投票など、要望があれば外出同行の支援も行なっている。また、デイサービス利用時の面会なども受け入れを行っており、昔、共に仕事をした同僚などの面会も実例としてある。近くの畑を見に行きたいという要望にも対応の実績有り。住み慣れた自宅で暮らすことがなじみの方との関係を絶たないという考えの下、在宅生活の継続が図れるよう支援している。 | 利用者の要望により、火曜日を「買物サービス日」として、近隣の商店での買い物に職員が付き添っているほか、馴染みの理容室に出かけられるよう支援をしている。 選挙の不在者投票や葬儀等への出席など、在宅生活で大切にしてきた人との関係が継続できるよう支援をしている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 時には昔の辛い時代を語りあい共に涙したり、思うように動かなくなった自身の体に絶望的な言葉を発した方を励ましあったりと、良い友人関係が築かれているように感じている。その関係が続くよう座席や環境に配慮するなどのサポートを行なっている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 体調が悪くなり入院してしまう方も時にはいるが、入院後もその人らしく笑顔の生活が送れるよう、外出先として当施設を利用して頂く事も有る。また施設入所となった方のご家族から相談があれば、問題解決が図れるよう丁寧に支援している。 | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ご本人の生活歴や、日常の言葉、ご家族からの聞き取り、日々の連絡帳から意向の把握に精一杯努めている。意思疎通が困難な場合でも、御家族にこれまでの生き方や好んでいたこと、好まなかったことなどを聞き取り、日々の表情や反応などにも眼を配り、できる限りご本人の望むであろう生活を検討している。 | 職員は利用者の基本情報から生活歴や思いを把握するとともに、日々の生活の中でのしぐさやつぶやきから思いを推し測り、意向の把握に努めている。 職員は利用者の表情やしぐさなどに変化を感じた場合には、申し送りノートに記録するとともに、職員で話し合い、情報を共有するよう努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 利用開始時を中心にご本人やご家族から聞き取りを行い把握に努めている。また信頼関係が深くなるほど、昔の自分について語ってくれる利用者の方も多いため、信頼関係が築けるよう努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 自宅での様子、受診時の状況、施設での様子を十分に確認観察し、現状把握に努めている。また、「ご本人のできること」を把握し日常生活の中で発揮できるよう支援している。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日頃から、スタッフ間での話し合いを行っており、ご本人が暮らす地域や関係機関の方、ご本人ご家族と連携協力しながら、ご本人の意向を最大限に活かし、より良い暮らしが実現するよう努めて介護計画を作成している。 | 介護計画は利用者や家族等の要望、意向を取り入れるとともに、支援経過記録を基に課題を把握し、職員で話し合っ介護支援専門員が作成している。 介護計画は1年を基本として6ヶ月毎にモニタリングを実施し、長期目標は1年、短期目標は6ヶ月として計画を見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直している。 | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 毎日ケアの記録を残し、その都度話し合いながら、職員間で情報を共有し、介護計画に活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご利用者や御家族の状況に合わせて、計画していたサービス日でも、即日対応している。また、早朝から夜遅くまで自由にサービスを選択していただけるシステムであり、その時々に応じたサービスがご家族にも好評である。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 特に独居の方に関しては、市が独自で行なっているサービスや、民生委員、近隣の方にも協力していただきながら、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう支援している。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医は、ご本人の希望するところを継続して受診して頂いている。当施設を利用したことによって医療機関を変更して頂く事は無く、必要に応じて医療相談員や医師、看護師と連携を取りながら、適切な医療が受けられるよう支援している。 | 事業所は利用者や家族等が長年信頼関係を築いてきた個々のかかりつけ医への受診を支援している。かかりつけ医への受診は家族等の付き添いを原則とし、受診の際には日常生活情報等を提供している。 受診後は家族等から受診結果を聞くとともに、家族等が付き添えない場合には職員が同行し、結果を電話や送迎時に家族等に報告している。 看護師が常勤しており、必要に応じて医師や医療相談員と連携し、適切な医療が受けられるよう支援をしている。 | |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 利用者の状態変化や家族からの情報は、常に看護師に報告し必要な指示を仰いだり、受診の必要性がある場合は、看護職員からご家族に連絡を入れるなど、健康が維持できるよう、適切な受診および看護が受けられるよう支援している。 | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 病院の医療相談員や医師と連絡を取り、本人の状態について情報交換を十分に行い、早期退院や今後のケアについて話し合っている。また必要に応じて医療機関へ訪問して、関係づくりを行なっている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 契約時には、施設の持つ機能を十分に説明し、重度化・終末期（身体が衰弱し常時医療が必要な場合としている）等について、また緊急時の対応について同意を頂いている。御家族が在宅での看取りを希望される場合は、できる限り希望に添えるよう、当施設の利用に留まらず、サービス調整や環境整備等の支援を行なっていきたいと考えている。 | 「急変時および重度化・終末期のケアに関する同意書」で重度化や終末期、看取りの方針を明記し、契約時に利用者や家族等に説明して同意を得ている。 事業所は現在までに看取りの経験はない。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 個々に応じたリスクを想定し、日頃より看護師と話し合い対応について指導を受けるなど、施設内研修を実施している。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | マニュアルの作成、避難訓練の実施、消防署からの指導を受けている。また近隣に住む職員も多く、その御家族の協力なども得られるようになってきている。また、震災の体験を経て、食料品や飲料水、日用品の備蓄などもある。 | 夜間想定を含めた避難訓練を年2回実施しており、報告書を作成して訓練で明らかになった問題点や反省点を記録し、職員で問題点を検討している。 避難訓練の案内は職員が近隣住民に声かけをして案内し、参加を得ている。 敷地内に避難先を設定し、夜間の場合を想定して避難路には誘導灯が設置されているが、夜間避難訓練に要した時間を記録するまでには至っていない。 災害に備えて米や飲料水等は備蓄しているが、品名や数量、賞味期限等が記載された備蓄品リストを整備するまでには至っていない。 | 避難訓練報告書に避難に要した時間を記載するとともに、品名や数量、賞味期限等を記載した備蓄品リストを作成することを期待する。 |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 利用者一人ひとりがかけがえの無い存在であることを認識し、プライバシーを損ねない言葉掛けや対応に努めている。接遇についても、管理者や介護支援専門員からスタッフに指導するなど、職員の資質の向上にも努めている。 | 職員は利用者を「人生の先輩」として敬い、人格を尊重した言葉遣いや対応に努めている。接遇やプライバシーに関する研修会を行い、職員の資質の向上に努めている。個人情報に関する書類は事務所の施錠ができる書棚に保管し、情報の漏洩に留意している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ご本人の意向や思いには、日頃より耳を傾けるよう精一杯努めている。また意見の表出が困難なご利用者様については、いくつかの選択肢を提示するなど、できる限り自己決定できるよう支援している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 施設での過ごし方は強制は一切しておらず、やりたいことがある方にはその支援を、のんびり過ごしたい方には、くつろぎの環境を提供するようにしており、外出等の行事についても希望されない方には通常の過ごしができるよう配慮している。また買い物などの希望があれば、随時対応している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 2ヶ月に1回訪問理容を実施し、希望する方は散髪を受けている。近隣の理容所へ行くことを希望する方は、送迎や同行の支援も実施している。また入浴後の髪の毛のブローや乳液でのマッサージ、制汗スプレーの噴霧等、要望に応じて支援している。季節の変わり目（衣替えの時期）には、希望者ショッピングを行い、衣類を購入する支援も行なっている。 | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 地元産野菜の下ごしらえ（インゲンの筋取り、枯葉の除去）を行ったり、調理のアドバイスを頂いたり、食べたい物の意向を募ったりしている。また、職員も一緒に食事を摂り、和気藹々の雰囲気の中で食欲アップを図っている。 | 職員は利用者を見守り、食事介助をしながら同じ食事を摂っている。 利用者はできる範囲で野菜の下ごしらえや下膳などの役割を担っている。 クリスマス会等の行事には特別食を楽しんだり、外出した際にはファミリーレストランで、利用者自身がメニューからうどんや天麩羅など好みの物を選んだりするなど、食事が楽しめるように支援をしている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分量、食事量については毎回確認。医師の制限指示がない場合は、施設来所時に800ml～1000mlの水分を目標に、高齢者に不足しがちな水分の確保に努めている。また、飲み物も希望に応じて提供している。医師の指示がある場合は、減塩食や糖尿病食も実施する。食事の形状についても個別に対応している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 宿泊者に関しては、義歯の洗浄等を毎日実施。通所の方も食後義歯の洗浄や嗽など、状態に応じて対応している。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 紙パンツやテープ式オムツを利用している方も含め、利用者全員がトイレを併用して利用している。尿便意が無くても、オムツ類の汚染による不快感を感じずにすむよう、トイレ誘導し汚染と不快を最小限に食い止められるよう努めている。 | 職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、個人のリズムに合わせてトイレ誘導をするとともに、できる限りトイレで排泄ができるように取り組んでいる。 夜間には居室にポータブルトイレを配置し、排泄の自立に向けた支援をしている。 | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | バランスの良い食事、食物繊維の豊富な食事の提供、十分な水分、トイレに座ることでの刺激など、便秘予防に努めている。また入浴時の腹部マッサージなど声かけしている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 入浴支援は週6日実施。毎日入浴される方も数名おり、心臓等身体にかかる負担も考慮しながら入浴支援をしている。ヒノキ風呂や大きな窓から見える庭園(?)や筑波山は大好評で、入浴を楽しみにしてる方も多く、現在は午前中入浴を皆さん希望されていることから午前中に実施している。要望があれば午後入浴も可。 | 広々とした浴室には檜風呂が2つ設置されており、利用者が毎日入浴が楽しめるように支援をしている。 入浴を拒む利用者には時間や担当者を替えたり、シャワー浴や清拭などで対応したりしている。 菖蒲湯や柚子湯等を取り入れ、利用者が季節感を味わえるように支援をしている。 皮膚疾患等の利用者には座シャワーを備えて感染予防にも配慮している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 和室、個室のベット、マッサージチェアー、ソファーなどお好みの場を選んで頂き休息安眠の時間を過ごして頂いている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 利用時服薬に関しては、職員が食膳と出し、確実に服薬できるよう確認している。また、宿泊者や家族の希望がある方は、看護師が日にち、服薬時間別に小分けにし管理も行なっている。なお処方内容に関しては定期的に薬局から発行される薬箋を確認し、副作用とあわせて把握に努めている。医師の指示に従い、軟膏、湿布薬なども入浴後に塗布、貼用を行なっている。点眼薬も用法、指示に従い点眼している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 飲酒、喫煙に関しては制限は無い。希望があれば、今までの生活に即し、健康を大きく害しない程度の量であれば可能。また、施設利用後に趣味の増えた方もおり、様々な趣味や楽しみを提案している。気分転換の方法もそれぞれに違いがあるので、ご本人と相談しながら実施している。職員と一緒に、洗濯量みやモップ賭けなどを日課として行なう利用者もいる。 | | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 一人暮らしや隠居暮らしの方も多く、地域がらお店が遠いことなど、不便を強いられている方もおり、希望に応じて随時買い物代行や、買い物同行を実施している。希望があれば、買い物以外の外出支援も行う。今までの対応実績として、自分の畑の様子を見に行きたいとの希望を実現させ、野菜を収穫してきたことがあった。また季節の行事を楽しみにしている方も多く、花見、ぶどう狩り、菊祭り見物などは特に好評である。 | 年間行事計画を作成し、季節毎にお花見やぶどう狩り、菊祭りなどに出かけている。利用者の希望にそって日用品や洋服等を近隣の量販店に「買物ツアー」に出かけたり、郊外型レストランでの「外食ツアー」に出かけたりしているほか、利用者の要望で畑の様子を見に行ったり、収穫を支援したりしている。外出計画を実施する際には、事前に職員が外出先を調査し、利用者の安全が確保できるよう支援をしている。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 基本的にお金の持ち込みはご遠慮頂いているが、持っていないと安心しないという利用者に関しては、自己管理をお願いしている。なお利用時に買い物希望されている方や、外出行事の時は、必要に応じてご持参頂き、支払い等について支援している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話は希望に応じて自由にお使い頂いている。手紙については書くこと、読むことが面倒になっている方も多く、送られてきた手紙の内容がわからない、提出書類が書けないなどの理由から持参される方もおりその都度支援している。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 環境整備や空調などについては日頃から十分配慮し、トイレや洗面台、浴室等は毎日清掃している。またトイレトペーパーやハンドペーパーについては常時確認し補充している。室内には観葉植物や花を置いたり、季節にあった手作りのタペストリーを飾っている。窓から見える庭先にも花を植えるなど、季節を感じながら過ごせるよう工夫している。 | 玄関や居間兼食堂には花や利用者と職員で制作した鯉のぼりなどが飾られ、季節感を出している。居間兼食堂は温度が一定に保たれているほか、大型のガラス戸が採用されており、明るい空間となっている。食卓を兼ねた木製の大型テーブルが配置され、利用者同士や職員と会話を楽しむ場所になっているほか、和室が併設されており、利用者が寛げる場所になっている。トイレには洗浄用シャワーが取り付けられており、失禁時の処理も快適に行えるよう配慮している。 | |

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | | |
|------|------|---|---|------|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 宿泊用の空室を、ご夫婦で通ってくる利用者の方にお使い頂いたり、和室で静かに休んで頂く方もいる。またソファで楽しく談笑される方、リビングテーブルで手芸に打ち込む方と様々な過ごしたい形に対応できるよう工夫している。 | / | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 家具の持込など制限はなく、宿泊室を自由にご利用頂けるが、短期間宿泊（1泊、2泊）の方も居り、家具の持込をされる方はほとんど無い。（箆笥、ベット、寝具一式、洗面用の椅子などは、施設で準備してある。） | | | 居室にはテレビやエアコン、ベッド、カーテン、整理箆笥、洗面台、椅子、寝具が備え付けられている。 管理者は契約時に利用者や家族等に使い慣れた寝具等を持参してもらえよう説明している。 |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 浴室には「暖簾」を、トイレには「お手洗い」の札をかけている。生活動線にはできる限り障害物が無いように工夫している。 | | | |

| V アウトカム項目 | | |
|-----------|--|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |

| | | |
|----|--|--|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | <input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない |

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 小規模多機能型居宅介護事業所 やさとの森

作成日 平成26年10月15日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--------------|-------------------------------------|--|------------|
| 1 | 6 | 身体拘束をしないケア | 身体拘束による弊害について全職員が認識し利用者の気持ちに寄り添うこと | 身体拘束排除のための研修会を実施し身体拘束をしないケアに努めやむを得ずの場合に備え同意書や観察記録の書類整備を行なう。 | 三週間 |
| 2 | 35 | 災害対策について | 昼夜問わず利用者が避難出来るよう全職員及び地域との協力体制の整備を築く | 震災の体験を活かし飲料水や食料品の備蓄及び備蓄品リストを整備・管理する。また避難訓練報告書に避難に要した時間等を記録に残す。 | 一ヶ月 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。